



清水 大粋 議員

不登校の予防・対応に関する施策等の拡充について

問 不登校の対応について、体系的で専門的知見も踏まえられた冊子等の配布や校内学習会などで保護者に広く周知されるべきだと考えるがどうか

答 「子育ての困りごと、ありませんか？」の改訂版に、不登校の態様や兆候、「スマイル」の紹介および専門的知見を踏まえた家庭における接し方やサポートの方法なども記載し、広く啓発してまいりたいと考えています

問 不登校の対応について、不登校の態様や兆候・要因等、教育支援センター「スマイル」等の相談先の紹介など、体系的で専門的知見も踏まえられた冊子等の配布や校内学習会などを通じて保護者に広く周知されるべきだと考えるがどうか。

答 教育指導部長
保護者の皆様へ向けた「子育ての困りごと、ありませんか？」の改訂版に、不登校の態様や兆候、「スマイル」の紹介および専門的知見を踏まえた家庭における接し方やサポートの方法なども記載し、

広く啓発してまいりたいと考えています。

また、必要に応じ保護者や地域の方々を対象とした不登校に関する研修会の開催などに努めてまいりたいと考えています。

問 予防的措置のため専門的観点からスクリーニングなどを講じてはどうか。

答 教育指導部長
潜在的なリスクについてスクリーニングできるような予防的措置も今後検討していきたいと考えています。

問 不登校児童生徒の発生を予防するための市としての理念、心構えを問う。

答 教育指導部長
不登校が生じないよう魅力ある、いじめや暴力行為を許さない学校づくり、児童生徒の学習状況に応じた指導や配慮、将来の社会的自立に向けた生活習慣づくりなどについて、学校や地域の実態に応じた取組を推進することが重要です。
今後ますますの教職員がこれらの理解を深めるための研修機会を確保し、教職員の資質向上を目指してまいります。

問 さらなる教育支援センター「スマイル」の拡充、利用者支援についてはどうか。

答 教育指導部長
「スマイル」では、令和7年度から教員免許を持つ指導員を6名に増員し、市独自でスクールソーシャルワーカーの拠点を「スマイル」に変更し、個別の相談にも対応できるよう体制を整えてまいりました。
今後も、きめ細かい支援充実のため、「スマイル」の環境整備や指導員や相談員の配置などの体制整備に努めてまいります。